

国労

蘇我運輸区分会ニュース

若者たちと語るうつ

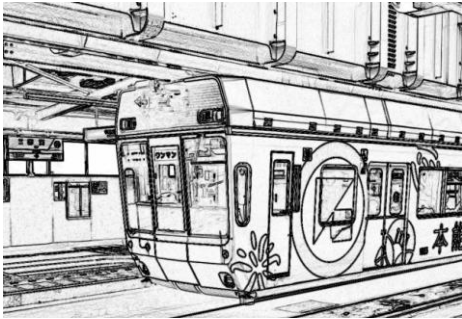
紙面の都合で、会議外の話になりますが、木更津の車掌と話す機会がありました。数ヶ月前、職場に支社長が来て、意見交換会が行われたとのこと。その際に「みんな積極的というか、前向きな発言ばかりで驚いた。統括センターとして業務的には何も指示されてない段階で、どうしてそんなに前向きになるんだろうと思った」

・ ・ ・ 確かに！ここ数年会社から発表される施策は、名称や回りの箱ばかりで、中味が何も決まってないというのが殆どです。更に「職場名が変わっただけで、例えば名札や、各資料なんかも相当な経費がかかっては？！」と続きました。

最近の事象に関して 運転士による車掌業務

現在、支社内では千葉運輸区のみがこの制度を始め（他乗務員職場は拒否）運転士経験のある助役（副長に名称変更だが、ここでは以下も助役表記で）3名、現役運転士1名が車掌の見習いに入り、もうすぐ終了とのことでした。

現役でさえ、運転士に



なるのに必死に勉強し、車掌業務は遠い過去という状況ですが、更に助役となれば車掌の仕事は20年も前の話という人もいるようです。

この制度で車掌として乗る機会も限られてはいるようですが、根本的な問題として安全面に不安があるのは、本人は勿論、第三者でも同様かと思えます。

私たちは、車掌の仕事も運転士の仕事も甘く考えているような会社の施策には絶対反対です。

人の命を守る鉄道業務は、車掌のプロ、運転士のプロ、その他諸々の業務のプロがいてこそ成り立つものではないでしょうか。会議内で

お宝発見！⑤

ますみコレクション・点検摘発メモ

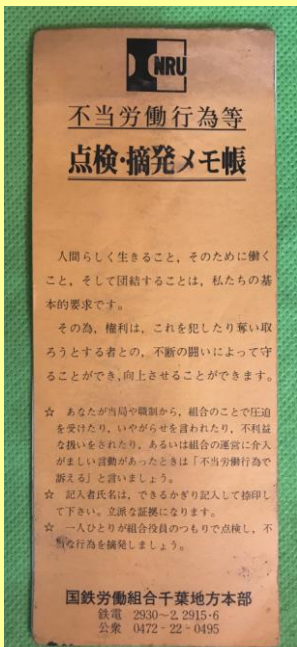
これが残っていたとは、驚くばかりです。懐かしさと共にこみ上げてくるものがありますね。

表紙には「人間らしく生きること、そのために働くこと、そして団結することは私たちの基本要件です」とあり、最後に「ひとり一人が組合役員のつもりで点検し、

不当な行為を摘発しましょう」と書かれています。

分割民営化を前後して、全国中の職場で組合員に対する差別、嫌がらせ、組合への介入等々、会社側のあからさまな不当労働行為が日常茶飯事として渦巻いていました。私たちは負けずに団結して頑張り、人間らしく生き続けられたことに今でも誇りを持っています。

中味は問題発言のあった日時、場所、相手、発言内容を書き込んで提出するようになってきました。ますみさんは何枚書いたかな？



☆ 木更津統括センターの若い社員は、不安と不満でいっぱいにはず。もっともっと本音をぶちまけてほしいです。